

いわくに魅力発信

Vol.4
美和・本郷

いわくに IWAKUNI - CHIKAKUNI - MONOGATARI チカクニ物語



いわくに魅力発信 いわくにチカクニ物語 VOL.4

IWAKUNI
CHIKAKUNI - MONOGATARI

〈 岩国市の詳しい情報はこちら 〉

ちかくにいわくに
岩国市シティプロモーションサイト

<https://chikakuni-iwakuni.com/>

～あなたのちかくにある岩国の4つの魅力～
岩国市シティプロモーションサイト

問合先/岩国市 広報戦略課
〒740-8585
山口県岩国市今津町一丁目14-51
TEL/0827-29-5016
mail:kouhou@city.iwakuni.lg.jp



家族の夢かなう
いわくに暮らしサポートセンター
DWARAKU-JISASHI SUPPORT CENTER

<https://yumekana-iwakuni.jp/>

総合移住相談窓口

問合先/いわくに暮らしサポートセンター
〒740-0018
山口県岩国市麻里布町二丁目3-6
株式会社 街づくり岩国 内
TEL/0120-28-1892(専用ダイヤル)、
0827-28-6020
相談受付/
月～土曜10:00～17:00



岩国 田舎暮らしの道しるべ！

<http://iwakuni-iжу.jp/>

中山間地域への移住相談窓口
(空き家バンク)

問合先/岩国市 中山間地域振興課
〒740-8585
山口県岩国市今津町一丁目14-51
TEL/0827-29-5012
mail:chiiki@city.iwakuni.lg.jp
相談受付/
平日9:00～17:00

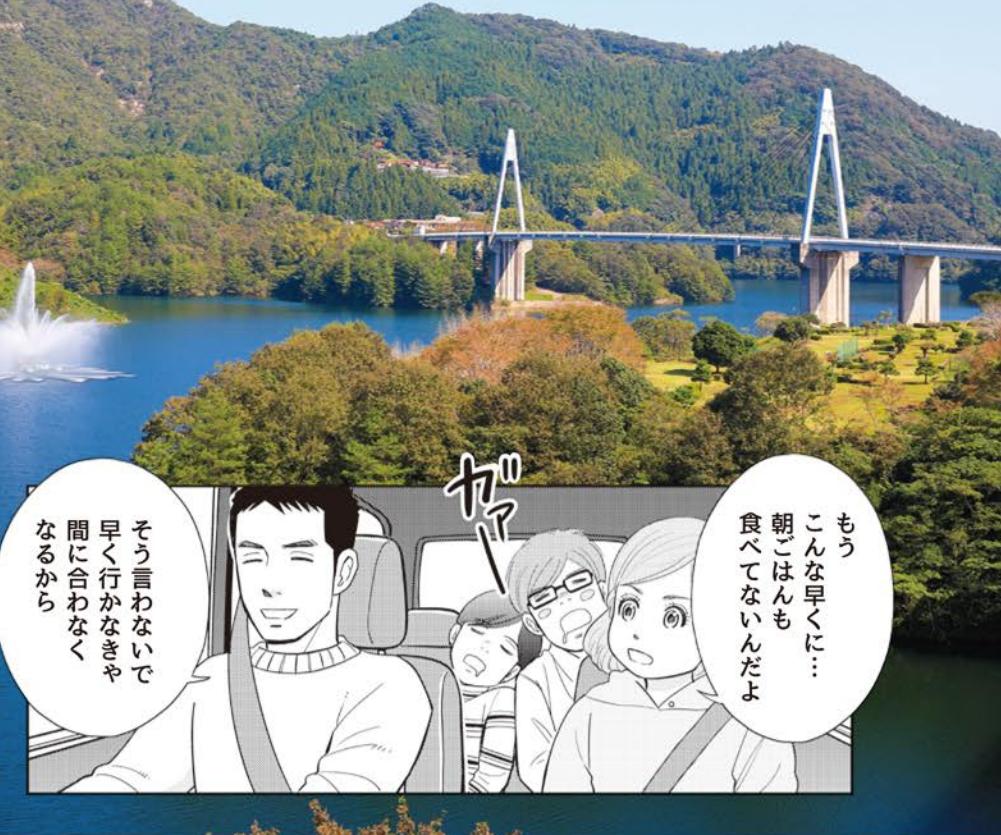


いわくに魅力発信
いわくにチカクニ物語
Vol.4 2022年1月発行

岩国市 中山間地域振興課
〒740-8585 山口県岩国市今津町一丁目14-51 TEL/0827-29-5012
この冊子は、岩国市ふるさと応援寄附金を財源に作成しました。内容は岩国市の中山間地域の情報を中心に掲載しています。
歴史的記述に関する監修:岩国微古館

美和町

岩国市北部、広島県との境に位置するのどかな山里です。弥栄湖など3つのダム湖があり、親水公園も整備されていて、季節毎に違う景色が楽しめます。また、大竹市の中心部には車で約25分と近く、通勤や買物にも便利。豊かな自然と暮らしやすさのバランスのとれた地域です。



景色も遊びも、思いっきり楽しめる湖

● 弥栄湖(やさかこ)

山口県と広島県の境に位置するダム湖です。湖にかかる弥栄大橋は人工湖にかかる斜張橋では西日本一の長さを誇ります。湖周辺には、パークゴルフ場、キャンプ場、スポーツ公園(テニスコート・グラウンド)等が整備されています。また、自家用ボートを搬入したり、レンタルボートを利用して楽しむこともできます。静かな湖面でのバス釣りが人気です。湖水を清らかに保つ噴水は1時間毎に吹き上がり、美しい虹が見られることがあります。



いわくに魅力発信

いわくに IWAKUNI - CHIKAKUNI - MONOGATARI チカクニ物語



VOL.1
由宇・玖珂・周東

VOL.2
美川・錦

VOL.3
柱島群島



チカは東京在住の大学生。3年生の夏、岩国に帰省してクニコとカーブ由宇練習場に行つたとき、ひょんなことからサトルとテツに出会いました。

その後、岩国の各地を巡るようになつた男女4人。由宇・玖珂・周東(VOL.1)、美川・錦(VOL.2)、柱島群島(VOL.3)で、岩国の魅力を再発見してきました。

さて、大学4年生も夏を過ぎて、チカはやつと内定をとりつけました。しかし、あんなに欲しかった内定なのに、あまり嬉しくありません。チカのなかで、何かが変わろうとしていました。

そんなチカは、秋たけなわの11月、卒論(テーマは明治維新)の調査のために帰省しました。あの3人がチカをほおっておくはずはありません。さうそくチカをドライブに誘つたのでした。

〈登場人物〉



国本サトル(21歳)

岩国市周東町出身。広島のホテルでコックをしている。高校時代は甲子園を目指していた。



岩田テツ(22歳)

岩国市錦町出身。広島の大学4年。ひょうきんで明るい性格だが、日本の伝統文化に詳しい。



葉月クニコ(21歳)

岩国市今津町の実家に住む。地元の大手企業に勤務するOL。カーブ女子。



立花チカ(21歳)

岩国市山手町出身、東京の大学4年。日本史を勉強している。趣味は食べ歩き。

地場産品がそろう湖畔の休憩施設

● レイクプラザやさか

やましろ

蜂蜜やこんにゃくなど、山代地域(本郷・錦・美川・美和)の特産品が揃います。毎週土曜日には地元で採れた野菜も並び、朝からにぎわいます。

弥栄湖や弥栄大橋を一望できる開放的なレストランや周辺の観光案内もあり、ドライブの休憩スポットとして県外から多くの人が訪れる施設です。隣接するパークゴルフや貸しボート等で体を動かすのも気持ち良く、たっぷり丸一日遊ぶことのできるスポットです。



美和町最大のにぎやかイベント

● 美和サンチャロウまつり

「みちやろう・くうちやろう・あるいはやろう」の3つのチャロウがコンセプト。美和町で一番大きなイベントです。毎年11月頃、弥栄湖スポーツ公園で開催されます。

無形文化財の神楽や太鼓など伝統芸能を観たり、秋の味覚を堪能したり、10000歩ラリー大会に参加したり。もし食べ過ぎても、ランナーに参加すればいいんです!



地元産品が安くて豊富な市場

● ふるさと市場

美和町を東西に走る県道111号沿いにある販売所です。朝いちばんに採れたばかりの野菜が並びます。ここに产品を卸す生産者さんは約150人。「新鮮な野菜が安く買える」と、県外からも来店があるとか。

秋には、美和町特産の岸根ぐりや松茸も並びます。



へー
美和町は
栗が有名なんだ

I am ready for
クリヒロイ



手作り朝ごはんがうれしい朝市

● せせらぎ朝市・キッチンせせらぎ／下畠地区

「地域の人たちが集まる場所になれば」と造られた下畠交流館。その願い通り、毎週土曜日に開かれる「せせらぎ朝市」は、朝早くからたくさんの人でにぎわいます。

● 朝ごはんを作る下畠のお母さんたち

朝市のもう一つのお目当ては、朝ごはん。和・洋食の2種から選べます。旬の野菜を使って、趣向を凝らした手作り料理の数々。毎回違うから、毎週通う人もいるみたい。



● 朝市に野菜を並べる生産者のみなさん

販売コーナーには、地元で採れた新鮮な野菜や果物、手作りの品などが所せましと並びます。食べ方を聞いてみたら、みなさん丁寧に教えてくれました。地元の人たちとおしゃべりしながら楽しくお買い物。みなさん明るくて、とっても爽やかな気分になれる朝市です。



カフェと焼き菓子で美和の魅力発信

● 吉岡芳美さん／里山カフェHAKU



結婚式もできるカフェ、岸根ぐりたっぷりの焼き菓子、自然の中の民泊施設など。「美和の魅力をもっと色々な人に伝えたい」と、地元愛に溢れる吉岡さんです。

ほっとする休憩スポット

● 金重 進さん／ほうえい堂

ドライブやハイキングで訪れる人たちの休憩所としてお店を始めた金重さん。岸根ぐり入りの外郎とお茶に癒されます。



積極的な商品開発で岸根ぐりの魅力発信



● 下森禎充さん／がんね栗の里
岸根ぐりの栽培からお菓子の加工まで、一貫して取組んでいる下森さん。手にしているのは、岸根ぐりと少量の砂糖だけを練り込んだ無添加の「栗きんとん」です。

本郷には『あんこ寿司』っていうのがあるんだって



美和で作る無添加ドッグフード

● フェアリーS.ガーデン

犬好きの店主夫婦が作り始めたドッグフードです。ドッグランも併設し、犬も飼い主も楽しめるお店です。



仲良し3人が作る美和のお菓子

● いきいきファーム美和／志谷庵

昔ながらの懐かしい外郎やお饅頭が人気です。材料は近くで採れた自然のヨモギやお茶。生見地区のご近所仲良し3人組が作っています。



観光栗園で栗ひろいに挑戦!

● 大根川観光栗園



「岸根ぐりを通して、美和町の魅力をもっと知ってもらいたい」と、園長の藤本忠義さん(写真左)が定年後に整備した栗園です。栗拾いの時期(10月中旬～下旬頃)にはたくさんの人で賑わい、藤本さんや近所の人たちも大忙しになります。

がんね 岸根ぐり

果実は30g以上で、和栗最大級の大きさ。果肉は粉質で甘くまろやかな味わいです。熟期は10月中旬～下旬。大正2年に全国栗品種名称調査会に出品し、その地名から「岸根(がんね)」と命名されました。

福祉施設でできる美味しいシイタケ

● ひよりの里

「障がいのある方に働く楽しみとやりがいを」との思いから始まったシイタケ栽培。県外からも来客があるほどの人気です。



減農薬のお米と原木シイタケ

● 福本農園

減農薬・減化学肥料の認定を県から受けている稻作農家。原木シイタケも自慢です。





本郷の湧き水でつくる豆腐

中田さんの豆腐づくりは深夜1時から始まります。本郷の中心地からさらに奥に入った本谷地区。そこに湧く豊富な水を使い、添加物は一切使わず、国産大豆と天然にがりで手間暇かけて作ります。

「お客様が喜んでくれる顔を見るのが嬉しい」。午後からは配達に出掛け、豆腐を心待ちにしている人たちに届けています。



中田 竜彦さん／中田豆腐店

千葉県で評判の居酒屋をしていましたが、店をたたんで父親といっしょに豆腐を作り始めました。それから18年、昔ながらの製法を守り、風味豊かな味わいを守り続けています。

本郷町



江戸時代には、本郷に代官所(勘場)が置かれ、山代地域(現在の本郷、錦、美川、美和)の政治・経済の中心地でした。特に紙すき(木の繊維から和紙を作ること)が盛んで、その収入は長州藩の財政を支える柱の一つでした。戦後には4千近くの人口がありましたが、現在は千人を下回っており、過疎・高齢化が進んでいます。歴史の薫り高く、寺社や旧家が残り、懐かしい山里の原風景を楽しむことができます。



びっくり美味しい「あんこ寿司」

やましき

江戸時代から伝わる山代地域の郷土料理。まるで饅頭の「あんこ」のように、ゴボウ・ニンジン・しいたけなど甘辛く煮た具が入っている押し寿司です。お米が貴重だった時代に、かさ増しをして大きく見えるように作ったのが始まりだとも言われています。

● 山代の里のみなさん

特産品の加工販売所「山代の里」で料理の腕を振るう皆さん。あんこ寿司などの各種お寿司やおはぎ、お餅、コロッケなど、どれも手作りのやさしい味わいです。

見た目は芋、食べると果物「ヤーコン」

ヤーコンは見た目は芋ですが、食べるとまるでナシのような食感と甘味があって果物のようです。

11月頃の霜が下りる前に急いで収穫して、ジャムやお茶に加工されます。



平岡 利美さん

生まれ育った本郷を活性づけたいと、約20年前にヤーコン栽培を始めた平岡さん。地域の清掃や美化など、本郷愛にあふれた方です。





美和にゆかりの「明治の大岡越前」!

たまの せいり

玉乃世履 (1825-1886)

岩国藩士の家に生まれ、幕末期、藩校養老館の教授のほか、坂上地方(美和町)の撫育方(代官に相当する役)として、地域の発展に尽力しました。紙すきの優れた技術を取り入れて紙の品質向上を図り、茶の栽培を広めて人々の暮らしの安定に貢献しています。また、四境戦争(幕長戦争)では北門団を組織して出兵しました。明治になると、初代の大審院長(現在の最高裁判所長官)を務めました。拷問の廃止を唱え、その公正な審判は、「明治の大岡越前(江戸時代の名奉行)」と賞賛されました。

また、「日本資本主義」の父と称される渋沢栄一と友人関係にあり、忠告をする間柄だったことでも知られています。



●東林寺(撫育役場跡)

坂上地方(美和町)を治める代官にあたる撫育方の拠点跡です。玉乃世履もこの場所で政務に当たっていました。



明治の大岡越前
岩国にはまだ知
りません
偉人がいっぱい
だわ!

やましろ かぐら
山代神楽

山代地域(現在の本郷・錦・美川・美和)は神楽の盛んな地域です。境を接する石見(島根県西部)や安芸(広島県西部)の影響を受けながら、独自の文化を形成してきました。特に美和町には4つの団体があり、子ども神楽も活発に行われています。

山代神楽に関する問合せ
岩国市 文化財保護課
TEL/0827-28-5353



神樂をして
みたい方は
こちらへ
ご連絡を

みよ
うか
な
やつ
て
オレ
も
神
楽



本郷を治めたのは、吉田松陰の兄!

すぎ みんじ

杉 民治 (1828-1910)

明治維新の志士に大きな影響を与えた吉田松陰の実兄です。松陰が獄中にあったときには、600を超える書物を差し入れ、手紙により松陰を励ました。

明治初期には各地で任務に当たり、その優れた手腕から「民治」の名を藩主から受けています。

明治3年から山代地域(現在の本郷・錦・美川・美和)に関わり、明治6年には本郷に赴任し、明治9年まで山代を治めました。

当時、本郷は水利に恵まれず、耕作の難しい土地でした。そこで民治は水路を造成し、田畠の開拓を進めました。

また、水路により生活・防火用水を確保する等、人々の生活は格段に向上しました。現在もこの水路は地域の暮らしと農業に役立っています。



●研究会のみなさん。建物は本郷歴史民俗資料館。毛利家の家紋が会員の誇り。

本郷の歴史を後世へ

● 山代本郷歴史研究会

江戸時代には、毛利家直轄の山代・本郷に代官所(勘場)がおかれしており、その歴史を後世に伝える活動をしています。杉民治らの功績を伝えるパンフレット作成や顕彰碑の建立、歴史ゆかりの地への解説看板の設置等をしてきました。

最近は萩と本郷を結んでいた「山代街道」の調査研究に取組んでいます。

長州藩を支えた「紙すき」

紙すき(木の繊維から紙を作ること)が山代地域(現在の本郷・錦・美川・美和)で始まったのは室町時代とも伝わります。原料の楮は山のやせた土地でも育ち、農民は紙すきにより田畠での貧しい収穫を補いました。

江戸時代、長州藩は紙すきを重要な収入源の一つとし、これを担う山代の民には重税が課せられました。この収益により、藩の江戸藩邸の経費が賄われ、ひいては維新を成し遂げる財源にもなりました。

本郷歴史民俗資料館には紙すき道具の展示があります。



● 紙の神様として長い歴史を誇る楮祖神社(本郷町)

らかん高原放牧場

1977年(昭和52)に整備された肉用牛の牧場です。羅漢山(1109m)の中腹、中国山地を見渡す高原に広大な草地が広がります。白い畜舎が印象的な美しい牧場です。周辺にはキャンプ場やパンガローが整備されています。



本郷の雪景色

中国山地に囲まれた本郷町では、毎年何度も雪が降り積もります。雪に覆われた山々と町並みの美しさは、寒さの中にほっとする光景です。



秋の本郷

本郷では昔ながらの田園風景を観ることができます。刈った稻を干す「はぜ掛け」は、現在ではほとんど見かけなくなった農村の原風景です。



美和のホタル

美和町の各地では、6月上旬から下旬にかけて、たくさんのホタルが舞う光景を鑑賞することができます。

写真は
明神原なごみ広場



弥栄湖周辺の桜(美和)

弥栄湖周辺には約3,500本の桜があり、お花見を楽しめます。また、弥栄ダム敷地内には5つの自然公園があり、四季折々の自然にふれるることができます。



